日本共産党市議会議員団
週刊議会報告

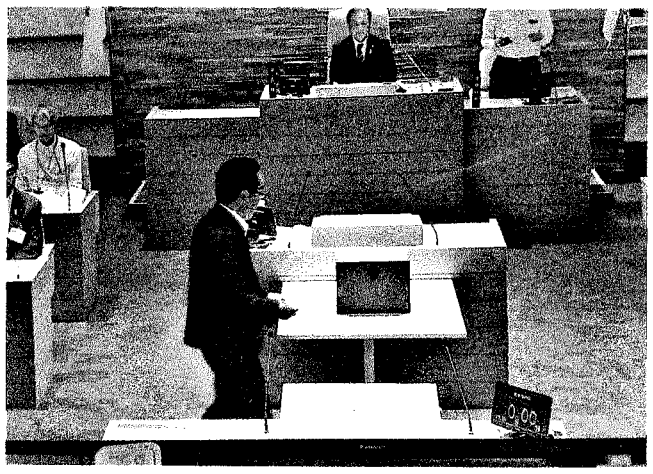
発　行
日本共産党市議団
岡野長寿
0845-22-2596
魚谷さとる
0848-22-2810

新しい議会なのに旧態依然の議長選挙

－議長派連合を形成して議会人事を独占する－

5月16日、選挙で選ばれた新議員による初めての本会議である「臨時議会」が開かれ、議長選挙が行われました。選挙には巻幡伸一議員(潮風おのみち)と吉和宏議員(平成会)が立候補。選挙の結果、吉和宏議員が議長に就任しました。

日本共産党市議団は、巻幡議員から議長選にあたり支援の要請と共に寄せられた文書(記事参照)により巻幡議員を支持し投票しました。



議長選で投票する岡野議員団長

これまで議長選挙をめぐっては、保守・公明党などが「議長派連合」を形成し議会人事、議長、副議長、監査委員や各常任委員会の委員長を独占してきました。例えば副議長は1年交替なので、改選前までには2巡目にさしかかっていました。

そればかりではなく「議長派連合」は、市長が委員会へ出席しなくてもいいことを認めたり、有権者6人に1人が署名した庁舎の建て替えの是非を住民投票でという要求に反対するなどの態度を取ってきました。

4月の市議選では、多くの新人が当選したことは、このような議会に対する批判の表れとみるべきです。しかし、議長選を巡っては旧態依然としてこの「議長派連合」を形成した選挙が行われました。

共産党議員団は、当初議員団長の岡野議員が立候補する予定でした。しかし、巻幡議員から支援の要請と共に文書(左下)がよせられ、検討の結果、議長は巻幡議員を支持することとし、岡野議員団長は立候補を辞退することにしました。

結果は左上の通りです。

【議長選挙の結果】

巻幡伸一	８票
吉和　宏	１９票
白　票	１票

【副議長選挙の結果】

前田孝人	８票
星野光男	１９票
白　票	１票

議長選での巻幡議員の文書

「議長の責務」

1．中立公正、公平な職務を励行する
2．民主的な議会運営を行う
3．議会に対して、理事者側が提案される内容が十分理解されるように務めることを指導する

「議会の役割」

1．市長提案の予算、決算、条例など市民にとって重要な内容を審査及びチェックする
2．執行権に対して監視する

魚谷さとる市議が立候補へ

－後期高齢者医療広域連合議員－

17日午後からは、委員会所属と共に後期高齢者医療広域連合議会の議員選挙が行われます。

これまでは、議長になった議員が自動的に広域連合議会の議員になっていましたが、共産党議員団は各会派の代表で構成する代表者会議で、選挙するよう求めたために、選挙が行われることになりました。

選挙をするのは、広域連合ができて初めてのことです。これまで自動的に広域連合議会議員になった議長らは、議長でない時期に本会議や委員会で後期高齢者医療制度につて質問したことはなく、たびたび議会でこの制度について質問してきた共産党市議団の魚谷議員が立候補します。

新しい議会で共産党市議団が行った提案に対し、どういう結果が出るのか、今後の動向が注目されます。

岡野・魚谷両市議が糾弾、定例宣伝開始

高齢者医療費2倍に続き、保険料も値上げへ

岸田自公政権の本質顕わに！

「昨年10月に岸田政権は高齢者の医療費窓口負担を2倍に値上げした」

「今度は高齢者医療窓口負担値上げを強行した」

「この政権を続けさせると市民のくらしが壊れる。次の衆院選で自民・公明政権を打倒し、国民生活を守ろう」と訴えました。

因島で訴える岡野長寿市議

「市議選で日本共産党は岡野、魚谷の2議席を獲得させていただきました。岸田大軍拡・大増税ストップのたたかいはこれからが本番です」

「市議選の中でも統一協会が反共ビラを各地でばらまくなど、共産党封じ込めの攻撃がかけられましたが、それを打ち破って進むことができました」

「市民の願い実現、大軍拡・大増税ストップの闘いを始めます」と。